

## インフラ構築サービス構成(A社様事例)

工程	サービス内容	サービス概要	
企画・設計	コンサルティング	お客様の抱えている問題点や事業課題について、費用や設置場所、構築期間に応じた、最適なコンサルティング(システム構成、センター配置、パッケージ選定など)を行います。	
	システム方式設計	サーバ方式設計	現行システムの保守上の問題点を分析し、保守費用や性能、セキュリティ、運用管理、拡張性に配慮した、最適なサーバ構成への再集約(サーバの役割に応じた再配置など)を行います。
		ソフトウェア方式設計	OSSから大規模システムで実績のある市販ミドルウェアまで、お客様の要件や費用に応じて最適なソフトウェア構成のための設計を行います。
		ネットワーク方式設計	ネットワーク方式から機器の選定まで、性能やセキュリティに配慮した設計を行います。
		セキュリティ方式設計	進入検知・改ざん防止などに備え、セキュリティ監視と運用に配慮した設計を行います。
		センター配置設計	サーバや機器の配置、ケーブルの配線など、省スペースに配慮した設計を行います。
		システム移行方式設計	24時間運転への対応など、お客様のサービス内容に沿った移行方式の設計を行います。
		構築	サーバ構築
ソフトウェア構築	OSSや製品のサポート実績から、最適なソフトウェア環境・パラメータを構築します。		
ネットワーク構築	実績のある「作業項目テンプレート」を活用し、高性能なネットワークを効率的に構築します。		
システム移行	富士通SSLのステージングセンターでの事前構築により、お客様センターの設置スペースを圧迫することなく、新システムへの移行を行うことができます。		
運用	スタートアップ運用	運用管理者教育・利用者教育など、お客様のシステムを稼動するために必要な作業を行います。	
	運用サポート	市販ミドルウェアや、OSSのサポートサービス「OSSミドルウェアサポートサービス」により、トラブル時の原因解析や回避策、パッチやレベルアップ影響診断を行います。	

## 事例ご紹介

「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」「セキュリティ」を  
ワンストップで構築する  
**富士通SSLのインフラ構築サービス**

## システムを実現するソフトウェア(A社様事例)

分類	主なソフトウェア	オープンソース・ソフトウェア(OSS)*
OS・周辺サービス		Redhat Enterprise Linux, NFS vsftpd, sendmail, procmail, bind, yperv
ミドルウェア		Apache HTTP Server, Apache Tomcat
データベース	Oracle	
セキュリティ	eTrust Access Control Sophos Anti-Virus for Linux	openssh, tcpwrapper
クラスタ	PRIMECLUSTER	
運用管理	Systemwalker CentricManager, Systemwalker OperationManager, NetVault	MRTG
その他	Urchin(ログ解析),GPG	PHP, Perl

\* OSSも多数対応しています。詳しくは弊社営業にお問合せください。

富士通SSLは、「ISO(JIS Q)27001」および「ISO(JIS Q)9001」の認証取得、  
プライバシーマークの付与を受けています。



FS 526155 / ISO(JIS Q) 9001  
IS 73980 / ISO(JIS Q)27001



※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。  
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。  
※記載の内容は、2008年11月現在のものです。

### お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ (富士通SSL)

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

T E L : 044-739-1251

当社ホームページ <http://www.ssl.fujitsu.com>

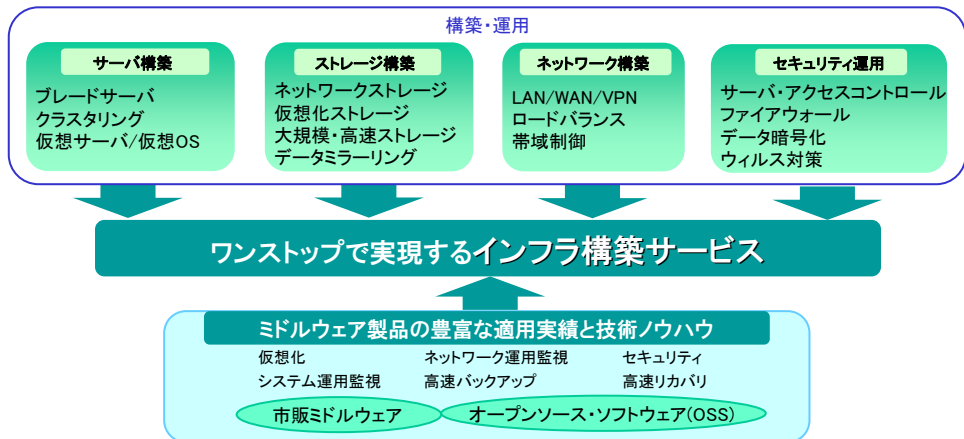
shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

## 「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」「セキュリティ」をワンストップで構築する 富士通SSLのインフラ構築サービス

インターネットは、企業経営を支える重要なIT基盤となっています。変化し続けるビジネス環境に対応するため、ITインフラもビジネスの変化に柔軟に対応できる最適な形が必要となってきています。拡大する情報コンテンツや新たなサービス、技術に追いついた業務を支えるITインフラは、ハードウェアやソフトウェアの運用費の増大、サーバを設置するセンターの設置スペースの不足、省電力化などグリーンITへの対応、さらには、内部統制や個人情報の管理などセキュリティ運用の複雑化への対応を同時に解決していくことが、ますます重要となってきています。

富士通SSLのインフラ構築サービスは、これまで個別に対応されてきた「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」の構築に加え、「セキュリティ運用」を全てカバーするとともに、市販ミドルウェアだけでなく、オープンソース・ソフトウェア(OSS)を活用したシステムまで、お客様のニーズに応じた最適なシステムの実現をワンストップでコーディネートします。また、見積りから構築、マネージメントまで、豊富な実績や雛形を利用し、設計から構築・運用までの効率的なインフラ構築を可能としています。



### 富士通SSLのインフラ構築サービスの特長

#### お客様視点に立ったアプローチ

#### お客様の要件に応じた最適なシステムを構築します

- インフラ構築と運用全体をコーディネートする専門技術者が、システム企画時から、お客様要件を踏まえたシステム設計を行います。
- 「機能要件」のみでなく、管理性、運用性、可用性、性能、拡張性など「非機能要件」を考慮した最適なシステム構成をご提供いたします。
- 信頼性や運用、投資規模など、お客様のご要件に応じた、最適なシステムをご提供いたします。
- システムのサービスレベルやセキュリティレベルに応じた設計・構築を行います。

#### ワンストップの構築

#### 「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」「セキュリティ」をワンストップで構築します

- 「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」の構築と「システム運用」「セキュリティ運用」の設計にあたり、それぞれの部分最適ではなく全体最適なインフラ構築を行います。
- 豊富な経験を有するそれぞれのエキスパートが協力して、トータルに実現します。

#### 豊富な実績と技術力

#### 様々な製品に対応できる豊富な技術力をご提供いたします

- 大規模・高信頼システムやインターネットシステム、ブレードサーバ、ネットワーク接続ストレージの豊富な構築実績に基づき、最適なシステムをご提供します。
- システム設計・構築に当たり、標準WBSに基づき、OS・ソフトウェアの組合せやパラメータ設計のための雛形を使用することにより、設計期間の短縮および効率化を実現します。
- 各種プラットフォームやワールドワイドで高い評価を得ている多数のソフトウェアに対し、高い技術力を駆使したシステム構築が可能です。
- TCOの削減、マルチベンダ環境の実現に向けて、OSSを活用した構築にも対応しています。

※WBS (Work Breakdown Structure): プロジェクトマネジメントで計画を立てる際に用いられる手法の一つ、プロジェクト全体を細かい作業に分割した構成図を用いる。

## 事例 中規模Webサイトのデータセンター移転にともなうインフラ再構築 ～「サーバ」「ストレージ」「ネットワーク」「セキュリティ」をワンストップで再構築 システム維持コストの削減とサーバ配置の最適化を実現～

### A社様構築事例

A社様では、グループ会社の製品を紹介し、個人利用者にメール等でイベントや製品の情報を提供するインターネットWebサイトを運営しています。インターネットの普及に伴い、A社様においても、このWebサイトの運営は、非常に重要な位置づけとなってきています。しかし、現状のWebサイトでは、サービスの拡大や増加するコンテンツへの対応、個別に構築してきたサーバの保守期限切れ、台数増加によるセンター設置スペースの確保、運用やセキュリティの効率化といった課題への対応が必要となってきていました。

### お客様の課題と実施後の効果

#### 導入前の課題・背景

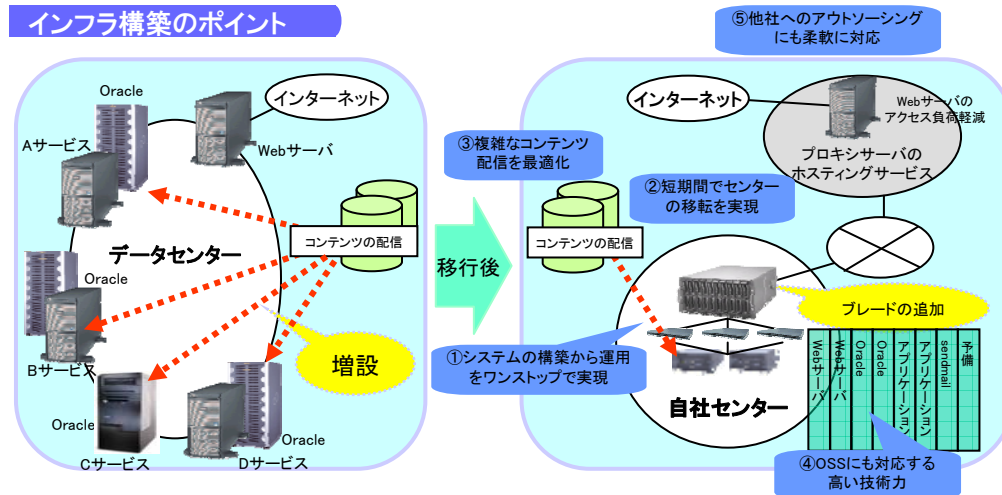
- サーバが老朽化、乱立してきており、サービスやコンテンツの拡張が困難になっている (サーバ台数約40台。ディスク容量など、システムリソースの使用量が年間約十数%増加している)
- 既存データセンターの利用が困難になり、早期の移転を迫られている
- サーバが増加する毎に、コンテンツの配信が必要になり、運用の変更や処理時間が増加している
- サーバの増加に伴い、ハードウェアやソフトウェアの導入費用が増大している
- サーバが増えるに連れ、システムの運用が複雑化し、トラブルへの迅速な対応が困難になっている

システム維持コストの削減と、センター・サーバ配置の最適化を目的に、システムの再集約を実施

#### 導入後の効果・お客様の評価

- サーバ、ストレージ、ネットワークの集約ができたため、サービスやコンテンツの拡張が容易にできるようになった
- ブレードサーバなどの導入により省スペースが可能となり、新データセンターへの移転が短期間で実現した
- コンテンツの配信箇所を一箇所に局所化し、運用変更がなく配信時間を10分の1に短縮できた
- サーバ台数の削減や、OSSを活用することで、導入費用の低減と保守費用の削減をすることができた
- トラブル時の一次対応や原因解析が容易にできるようになり、トラブルへの迅速な対応ができるようになった

### インフラ構築のポイント



- ① サーバ、ストレージ、ネットワークの構築から、システムやセキュリティの運用までをワンストップでトータルに実現！
- ② 実績のあるWBSやテンプレート・雛形を活用し、センターの移転を短期間で実現！
- ③ 専門技術者の豊富な構築実績により、複雑なインターネットシステムのコンテンツ配信を最適化！
- ④ 高い技術力を駆使し、市販ソフトウェアだけでなく、OSSも活用したシステムを構築！
- ⑤ お客様の運用や投資規模などのご要件に応じ、他社サービスを併用したアウトソーシングなどにも最適に対応！